

D. A. F. 鳴高！ ～鳴高生のみなさんへ校長メッセージ～

鳴尾高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

11月号

IF YOU DON' T LIKE SOMETHING, CHANGE IT.

「坂本ですが？」(全4巻・佐野菜見 著)は県立学文高校を舞台に、入学早々学校中の注目を集め、一挙手一投足がクールでクレーストな1年2組 坂本のスタイリッシュな学園生活を描いた漫画です。2巻では角刈りの体育教師・角田や2年生をしめるカリスマヤンキー・8823、3巻では底知れぬ残酷さを持ちヤンキー達さへも恐れている大物3年生・深瀬が登場し、次々と挑まれる戦い(=課題)をスタイリッシュに解決していく爽快感が「坂本ですが？」の魅力。それってまさに『探究』? 4巻での卒業式のシーンと共に、坂本が去って行く別れのシーンまで最後まで引き込まれていきます。作中に登場する県立学文高校は鳴尾高校をモチーフに描かれているということもあり、度々登場する旧体操服(現在の2年生までが使用)や作品中にちりばめられた校内のあちらこちらのシーンに、鳴高生なら思わず親近感を感じてしまうはず。



坂本の登校シーンでの体育教師・角田との戦い(2巻、44ページ)

でも、ここで考えてみて！
「坂本ですが？」の主人公は『坂本』ですが、リアルな鳴尾高校での主役はいたい誰ですか？
答えは、「〇〇ですが？」
〇〇とは、今、この文章を読んでいる『あなた』です！

【鳴高トピックス】 ※詳しくはHPで♪

back number

☑体育大会

(R6.10.2 水)

今年から生徒会種目として障害物リレーを実施！盛り上がりました！

☑英語スピーチコンテスト阪神大会

(R6.10.12 土)

国際文化情報学科2年生3名が出場し、第2位&第4位に入賞する大快挙！
11月2日(土)に実施される県大会に出場します。全国大会も夢じゃない♪

☑第2回学校説明会、English Fair

(R6.10.26 土)

鳴高生が中学生目線で説明内容を考え、鳴高生の言葉で説明する、生徒が主役の学校説明会&English Fairを実施！

☑国際文化学科、総合人間類型の様々な特色あるプログラム

future

☑公開授業週間

(R6.11.11月～11.15 金)

☑レシテーションコンテスト(学科1年)

<質問コーナー>

【Q】「ビックリするぐらい静かな授業でした。」

これは年度途中で短期間、非常勤講師で来てくださった先生からの授業の感想です。さて、これを聞いて、校長は喜んだと思いますか？

【A】答えは「NO!」です。今の3年生が1年生のときからスタートしている「**新学習指導要領**」における授業は、自らの生き方を選択できる力を育むために、授業を受けているみなさんを主語に展開していきます。ならば、当然、授業を受けているみなさんはイキイキと目を輝かせながら、ワクワクと頭をフル活動させ、思考し、判断し、表現する。そして、主体的に学びに向かっていくはず。 「ビックリするぐらい静かな授業」なんてありえません！校長の感想は「ガッカリ」です。「令和の日本型教育」というワードを聞いたことがありますか？そこで大事になってくるキーワードが「個別最適な学び」と「協働的な学び」です。鳴尾高校ではスタディーサブ(スタサブ・6,160円/一人)を導入し、今年度からは「ロイロノート」(R6は無償)の活用も始まりました。もちろん、BYODでタブレット(61,600～70,950円/一人)を活用した授業も3年目。「ビックリするぐらい静かな授業」の原因は私たち教員にあります。が、鳴高生のみなさんはどうですか？それが当たり前になっていませんか？

鳴高生のみなさん！ 今月の<質問コーナー>を読んで、あなたも”授業”について考えて見る機会にしてみてください。お客様にはなっていませんか？ あなたが主語です！主役です！ **CHANGE IT.**